

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	山根 正夫	職名	教授	学位	修士 (教育学)
----	-------	----	----	----	----------

研究分野	研究内容のキーワード
障害児・者の援助方法 応用行動分析学	障害児保育・社会情動スキル・行動分析・発達障害

研究課題
乳幼児の子どもの社会情動スキルの評価及びその援助方法に関する研究

担当授業科目
子ども家庭福祉論、障害者福祉論、障害児保育、社会的養護、社会的養護内容、 相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、保育実習指導Ⅰ・Ⅲ、保育実習Ⅰ・保育実習Ⅲ、専門研究Ⅰ・Ⅱ

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 子ども家庭福祉論・障害者福祉論 】</p> <p>社会福祉士国家試験受験のための必修科目であり、レジメを準備しパワーポイントを利用して講義した。レジメや時々及び時々のトピックスの論文などを適宜配布し、それぞれの科目の理解の深化に務めた。レジメについては毎年空欄を作って書き込めるようにしてほしいという要望があるが、何が大事か強調されているのかについての認知力を高める事も視野に入れてレジメを作成していることを学生に説明している。</p>
<p>授業科目名【 障害児保育 】</p> <p>演習系科目であり、副読本についてノート作成し定期的に提出させ、点検の上返却した。今年の授業の大半のコマは、課題に沿って担当学生を決め、プログラム準備、プレゼンテーション、ディスカッション、教員による解説の流れで授業を進めた。学生にとって自分の担当課題は理解が深まっているがそれ以外の講義内容の理解についてはばらつきが大きい。来年度も学生の主体的学習を深めさせたい。</p>
<p>授業科目名【 相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 】</p> <p>授業の方法はほぼ共通であるが、Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ (Ⅴの後半部分はコミュニティワーク) については、現代の児童家庭の課題を示しそれについて学生が調べ、プレゼンテーション・討議を通して学習を深める方法をとった。学生がやや制度面にだけ焦点が向けられきらいがあり、個々の生活実態の臨床的な側面からの学習の深化を得られなかったのではないかと危惧している。来年度はこの点を踏まえ、授業を進めていきたい。</p>
<p>授業科目名【 保育実習指導Ⅰ・Ⅲ、保育実習Ⅰ・Ⅲ 】</p> <p>複数教員による合同授業である。保育実践への導入教科であるため、より現場感覚に沿った授業構成とした。</p>
<p>授業科目名【 社会的養護・社会的養護内容 】</p> <p>保育士資格取得のための必修科目であるが、前者はオープン科目で、教科書を中心に理論的・制度的な理解を求めた。後者は演習科目であり、実践上必要な内容について調べ学習や討議を重視して授業を構成した。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本特殊教育学会 日本行動分析学会 日本発達障害学会 日本福祉学会 日本保育学会 福岡教育大学付属障害児治療教育センター研究部員 日本保育ソーシャルワーク学会		昭和 51 年 4 月～ 昭和 61 年 4 月～ 平成 7 年 9 月～ 平成 12 年 11 月～ 平成 22 年 4 月～ 平成 28 年～

2019 年 度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 特になし				
(学術論文) 保育士が必要とする保育ソーシャルワーク内容の因子構造	共著	2019 年 11 月	厚生労働統計協会 厚生労働の指標	保育所での様々な福祉的課題を持つ子どもへの支援への保育士などによるソーシャルワークの内容や専門性、方法論等について調査を実施し、一般的な妥当性を確認した。
(翻訳) 特になし				
(学会発表) 特になし				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)
なし			

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(2) 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備 考
なし			

社 会 に お け る 活 動 等

団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
北九州市児童福祉施設等第3者評価委員会委員 北九州市福祉事業団評議員 社会福祉法人福音会評議員 社会福祉法人喜久茂会理事 北九州市社会福祉審議会委員 北九州市社会福祉協議会評議員		平成28年4月～平成30年3月 平成29年4月～平成30年3月 平成29年11月～ 平成29年11月～ 平成29年4月～平成31年3月 平成29年4月～

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

学生総合支援室室長 倫理審査委員会委員
